

青梅市文化財ニュース

第252号

平成20年10月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町1-684 TEL0428-23-6859）

市内の神社 その3

10月は別名神無月（かんなづき）といわれます。これは、ご存じの方も多いと思いますが、神様が皆出雲の国へ出かけているからだと言われているためです。（出雲では神有月というそうです）今はお留守の神様ですが、前の月の9月は、秋祭りが非常に多い月です。前回も市内の比較的はっきりしている神社について、その神社や祭神のことを概説しました。今回もその続きとして市内の神社について述べてみたいと思います。

青梅市史に神社、寺院の項目がありまして、そこに神社が39社載せてあります。これは、江戸時代に徳川將軍家より「御朱印地」（免税地等）を拝領していた神社です。これらは、旧郷社や旧村社で、比較的大きな神社です。その他にも市史には載っていないが、いろいろな神社が市内にはたくさんあります。神社として、法人格（宗教法人）を持ち、財産（主に土地……境内地等）がある神社から、1軒または数軒の家で尊崇しており、財産（土地等）もなく、その家の所有地の中に存在するものまでいろいろあります。神社として、境内地等の財産を有し、法人格を有している神社は市内に70社あり、そのうち69社が神社庁発行の「神社名簿」に記載され神社庁の包括神社として宗教活動を行っています。

今回はこれらの神社について話を進めてみますが、御祭神に関しては、「合祀」（複数の神様を合わせ祀ること）が行われているため複数の神様がおられるような場合もあるので、代表的な御祭神と一般的な神社名について述べます。（明治元年に「神仏分離令」が出た時にかなり合祀が行われているので、詳細については、その宮司さんや総代の方に聞かれるのが正しいかと思います）

諏訪神社……御祭神は武御名方神（たけみなかたのかみ）。武御名方神は大國主神の子で父神とともに国造りに大功があった神と言われている。古事記によると、建御雷之男神（たけみかづちのおのかみ）との力比べに負けて諏訪へ逃げた武御名方神が、諏訪地方から外へ出ないことを約束して助けてもらったことになっています。市内根ヶ布にある虎柏神社は、天慶3年（940）源經基が諏訪上下大神を勧請したと伝えられているように、「根ヶ布のお諏訪様」として多くの人の信仰を得ています。虎柏神社は、三間社の本殿と境域、そして御殿入り祭といわれる神事の三つが東京都の文化財として指定を受けています。この他成木二丁目にも諏訪神社が祀られています。

天神社……天満宮・〇〇天神と呼ばれる菅原道真公を御祭神とする神社が俗称「天神様」で、多くの受験生に信仰されています。今井の浮島神社は、他にも御祭神が祀られていますが、天神様の一つで「浮島天神」と呼ばれています。今井地区は「菅原道真公」をお祀りするだけあって、昔から冠句が盛

んに行われており、四月の例大祭には多くの俳句が奉納されます。梅郷四丁目に鎮座する「菅原神社」も「菅原道真公」を御祭神とする神社で天神社の一つです。また新町では、昭和61年に、御岳神社の境内に太宰府天満宮より御分霊を戴き「新町天神社」としてお祀りしています。

大山祇神社…御祭神は大山祇命（おおやまずみのみこと）で、全国に約1万社が祀られています。愛媛県越智郡大三島町に鎮座されている大山祇神社が総本社で、大山祇とは「大いなる山の神」の意で、木花佐久夜毘売命（このはなさくやひめのみこと）の父神でもあります。市内には大山祇神社の名称の神社はありませんが（法人格のないものは何社かあると思われます。「山の神様」などと呼ばれているのは大山祇命が祭神です。成木地区や小曾木地区には山の神様が多く祀られているのではないのでしょうか）、日向和田の和田乃神社や裏宿町の梅園神社などは御祭神に大山祇命が祀られているので、もとは大山祇神社があったものと推察されます。

熊野神社……熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社を併せて熊野三山といいます。この3社は元々は別々の神社であったようですが、互いに御祭神を勧請しあって熊野三山と称するようになったようです。三山共通の御祭神はありませんが熊野速玉の大神や家津御子大神が祀られています。御岳一丁目（中野）にある熊野神社は、宮本家の先祖が紀州熊野から来住した折りに、故郷の熊野三社を勧請したのが始まりと伝えられています。この他、木下、御岳・佛沢に熊野神社があります。成木大蔵野の成木神社も元亀二年白土焼きの創始者木崎平次郎が熊野権現を勧請したのが始まりと伝えられています。さらに森下の都営バス車庫のところにも熊野神社があります。この他市内ではありませんが、隣の奥多摩町の梅沢、小丹波、棚沢にも熊野神社があります。このことから青梅・奥多摩では、時代の前後は多少あると思いますが、熊野信仰が盛んだった様子が伺えます。

浅間神社……静岡県富士宮市に鎮座する、富士山本宮浅間大社が総本社になりますが、富士山がよく見えるところには浅間神社があるようです。隣の瑞穂町には浅間神社があり、昭和40年頃までは御祭礼もにぎわいをみせたようでした。法人格を持つ神社としては残念ながら青梅市内にはないようですが、富士講など講組織として市内各地に残っているところはまだ多いのではないのでしょうか。

今回も、紙面の都合等で全部は載せられませんが、もし、ここが違っていると、家の近くにはこういう神社もあるということがありましたら、教えていただくと大変ありがたいです。

その土地土地にある神社は、その土地の歴史を物語っています。ある時突然に神社ができたのではなく、誰かが勧請してきたものです。つまり神様は分けて持ち運ぶものであるということを付け加えておきます。

神社名や御祭神のことを調べてみるとその土地の歴史が少しはわかってくるのではないのでしょうか。

（文責 神森 正）